

ご使用になる前に必ずお読みください

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、次の指示と「安全にお使いいただくために」をよくお読みの上、本機を正しくお使いください。また、本書をお読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

本機は、Windows® および Macintosh の各OS(オペレーティングシステム)に対応しています。

- プレゼンター機能を使用する前に、使用するソフトウェアに合わせて本機左横の電源 / プレゼンターモードスイッチを正しく設定してください。設定が不適切な場合、正しく動作しないことがあります。
- 本機ご使用前に、USBレシーバーをお使いのパソコンに接続してください。

ご使用前の設定

電池を交換する

- 1 本機裏面の電池ふたを矢印の方向に押しながら外します。
- 2 極性(+、-)を間違えないように注意し、電池ケースに単4形乾電池2本を入れます。
- 3 電池ふたをもとの位置に戻します。

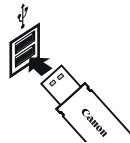


- ⚠ **注意** 使用済みの電池は (+) 極 (-) 極をテープで絶縁してからお住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。
- 電池の極性 (+、-) を間違えないように入れてください。電池の極性を間違えて入れると事故の原因となります。
- 本機で使用できる電池は単4形乾電池です。交換の際も同じ種類のものをご使用ください。
- 液もれなどによる故障を防ぐため、長時間使用しないときや電池を使い切ったときは電池を取り出してください。



- ⚠ **警告** 電池を交換する際は、小さなお子様か誤って電池を口に入れないように手の届かない場所で行ってください。万一、飲み込んだ場合はただちに医師にご相談ください。

USBレシーバーを接続する

- 1 本機表側からUSBレシーバーを取り出します。
- 2 お使いのパソコンのUSBポートにUSBレシーバーを接続します。(ソフトウェアのインストールは不要です。)
- 3 電源 / プレゼンターモードスイッチを、使用するソフトウェアに合わせて「Keynote」または「PowerPoint」に合わせます。
- 4 接続を開始します。接続確立中は●) が点滅し、接続が確立されると点滅が止まります。



使い方のヒント

- 本機をパソコンと接続する前に、必ずパソコン内のデータのバックアップをお取りください。
- パソコンと本機の間で接続がうまくいかないときは次の手順をお試しください。
 - (1) USBレシーバーをパソコンから取り外し、再度USBポートに接続します。
 - (2) 電源 / プレゼンターモードスイッチの位置を「Keynote」または「PowerPoint」に動かします。
 - (3) (1)(2)を試してもうまくいかないときは、 と本機右横の  を同時に3秒以上長押しして接続を再度行ってください。
- 他のパソコンで本機を使用する場合は、再度USBレシーバーの接続を行ってください。
- パソコンとの接続には乾電池からの電源供給が必要です。
- 本機の使用が終了したら、パソコンからUSBレシーバーを取り外し、本機表側の所定の場所に戻してください。

【抗菌対応】

SIAAマークは、ISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

SIAA ISO22196 for KOHKIN	SIAAマークは、ISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。
「PR100-RC」 無機系抗菌剤 練込：上下ケース・キー JP0122123A0009V	「PR10-GC」 無機系抗菌剤 練込：下ケース・キー 塗装加工：上ケース JP0122123A0010N

安全にお使いいただくために

この装置は、クラスB情報装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- ⚠ **警告** 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

- 落としたり、ぶつけたり、異臭がするなどの異常が発生した場合はパーソナル機器修理受付センターにご連絡ください。
- 万一、表示画面が破損して中の液晶(液体)が漏れた場合は、絶対に触れないでください。万一本体が破損した場合はパーソナル機器修理受付センターにご連絡ください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。火災や感電の原因になります。
- 航空機内・病院でのワイヤレス製品使用について
航空機内での無線機器の使用は、計器に悪影響を及ぼす可能性があるため禁止されています。機内での本機の使用は避け、機内に持ち込むときは電源をお切りください。
病院など、電波機器の使用が禁止されている場所で本機を使用しないでください。本機の発する電波により、医療機器に影響を及ぼす恐れがあります。
- 小さなお子様の手が届かないように管理、使用してください。
- 絶対にレーザー光を覗き込んだり、人に向けたりしないでください。
- レーザー光を絶対に目に照射しないでください。
- レーザー光を鏡などに照射すると、反射光で目を傷める恐れがあります。
- 本説明書に記載されている以外の操作、修正は、危険な放射被ばくをもたらす可能性がありますのでおやめください。

- ⚠ **注意** 取扱いを誤った場合に、障害を負う恐れのある内容が書かれています。必ずこの注意事項をお守りください。

- 湿気やほごりの多い場所には置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 本機の上には重いものを載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して怪我の原因になることがあります。
- 本機の内部に、水や液体、異物(金片)が入ると、火災や感電の原因になることがあります。その場合は、パーソナル機器修理受付センターにご連絡ください。

レーザーの安全基準

本製品はJIS『レーザー製品の放射安全基準C6802 クラス2 レーザー装置』に該当します。

クラス2レーザー装置

- 最大出力:<1mW
- レーザー波長:
635nm (PR100-RC) レーザー光出力口 
- レーザー光の種類:持続波



レーザー光をのぞきこまないこと
レーザー光を人に向けないこと
子供に使わせないこと

レーザー光
ビームをのぞきこまないこと
最大1mW 波長635nm
クラス2レーザー製品
JIS C6802-2011

レーザー光
ビームをのぞきこまないこと
最大1mW 波長532nm
クラス2レーザー製品
JIS C6802-2011

商標、ライセンスについて

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac、OS X、Keynote は、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。
- その他の会社名および製品、サービス名は、それぞれを表示するためにだけ引用されており、それぞれの各社の登録商標または商標である場合があります。

仕様

- 形式 : キヤノン「PR100-RC」、「PR10-GC」
- 電源 : 単4形アルカリ乾電池 x 2本
- 推奨使用温度 : PR100-RC : 0°C~40°C
PR10-GC : 15°C~35°C
- 外形寸法 : 136 mm (奥行) x 33 mm (幅) x 26 mm (高さ)
(PR100-RC/ PR10-GCともに)
- 重量 : PR100-RC : 43g (電池をのぞく) / 66g (電池を含む)
PR10-GC : 48g (電池をのぞく) / 71g (電池を含む)
- 付属品 : USBレシーバー、ソフトケース、単4形乾電池 x 2本

- 改良のため、予告なく仕様の変更を行うことがあります。

ワイヤレス仕様

- 周波数 : 2.4GHz
- 動作距離 : PR100-RC: 最大 15メートル
PR10-GC: 最大 30メートル

- ⚠ 接続範囲は、近くに金属物がある場合や、本機とUSBレシーバーの相対位置などにより変化する場合があります。(近くに金属物があると通信距離が短くなる場合があります。)
- 本機とパソコンの間の通信には2.4GHzの周波数を使用しています。本機の近くで同じ周波数の製品をご使用になると、本機が正しく動作しない場合があります。

動作環境

- パソコン
 - 次の対応OSがプレインストールされているIBM PC / AT互換 (DOS/V) 機 / Macintosh
 - 本体にUSB 2.0ポートを装備しているもの
- 対応OS
 - Windows Vista® (SP2以上)、Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1、Mac OS X 10.5 ~ 10.10
- 対応ソフトウェア
 - PowerPoint® 2003、2007、2010、2013
 - PowerPoint® for Mac 2011
 - Mac用Keynote 6.5
 - Adobe® Reader® 10、11 for Windows® #
 - プレビュー 4.2 ~ 8.0 #
- #: スライドショー開始・終了機能はご利用いただけません。
- その他、Windows Vista® (SP2以上)、Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1、Mac OS X 10.5 ~ 10.10が推奨する動作環境に準拠。
- 機器の構成により正常に動作しない場合があります。
- 上記以外のOSをご使用の場合は、動作しません。
- 以前のOSからアップグレードしたパソコンでの動作保障は致しません。

製品取扱い方法ご相談窓口

キヤノンお客様相談センター
(全国共通番号) 050-555-90025

[受付時間] 平日・土・日・祝日 9:00 ~ 18:00
(1月1日~1月3日は休ませていただきます)

修理お問い合わせ専用窓口

パーソナル機器修理受付センター
(全国共通番号) 050-555-99088

[受付時間] 平日・土・日・祝日 9:00 ~ 18:00
(1月1日~1月3日は休ませていただきます)

- ※上記番号をご利用頂けない場合は、043-211-9632をご利用ください。
- ※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。
- ※上記記載内容は、都合により予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

Canon

PR100-RC
PR10-GC



E-IJ-1331

使用説明書

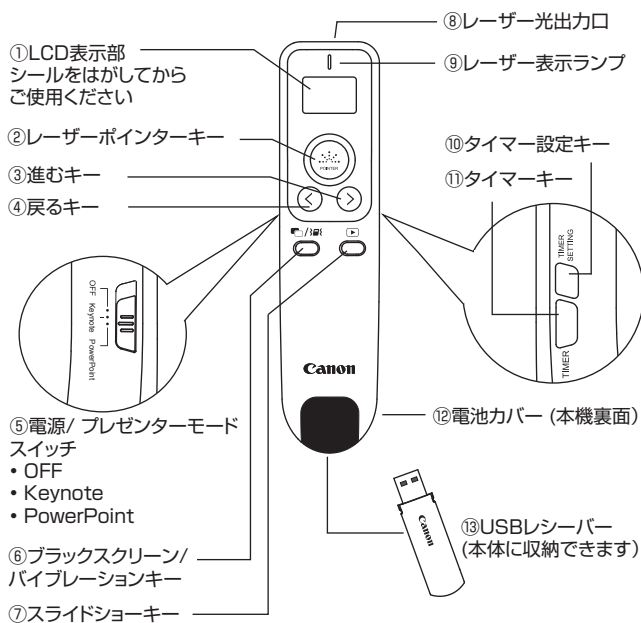
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 お問い合わせ先 050-555-90025
© CANON ELECTRONIC BUSINESS MACHINES (H.K.) CO., LTD. 2015 PRINTED IN CHINA


2015年7月1日現在

各部の名称

本機



① LCD 表示部

初めて使用するときは LCD 表示部のシールをはがしてからご使用下さい。
接続やタイマーの状態を表示します。表示部に  アイコンが表示されたときは電池を交換してください。

② レーザーポインターキー

プレゼンテーションなどで、このキーを押して指し示したり強調したい箇所にレーザーを当てます。

③ 進むキー / ④ 戻るキー

プレゼンテーションでスライドショー実行中に、この2つのキーで前後のスライドを表示します。タイマー設定では時間を設定する時に使用します。

⑤ 電源 / プレゼンターモードスイッチ

電源のオンオフや、プレゼンター機能で使用するソフトウェアを設定するときに使用します。電源オンしたときは、現在の設定が LCD 表示部に表示されます。

⑥ ブラックスクリーン / バイブレーションキー

プレゼンテーションでブラックスクリーンに切替えるときに使用します。2 秒以上長押しするとバイブレーション機能のオンオフを切替えることができます。

⑦ スライドショーキー

スライドショーを開始するときや終了するときに使用します。

⑧ レーザー光出力口

⑨ レーザー表示ランプ

レーザーポインターキーを押している間点灯します。

⑩ タイマー設定キー

タイマー設定するときに使用します。設定中にもう一度押すとタイマー設定を終了します。使用中に LCD 表示部とバックライトが消えたとき、再度点灯させるときにも使用します。

⑪ タイマーキー

タイマーの開始や一時停止するときに使用します。2 秒以上長押しするとタイマーをリセットすることができます。使用中に LCD 表示部とバックライトが消えたとき、再度点灯させるときにも使用します。

⑫ 電池カバー(本機裏面)

⑬ USB レシーバー
使わないときは本機表側に収納できます。

アイコン(①LCD表示部)



●)

本機とパソコンの接続確立中は点滅します。接続が確立すると点滅が止まります。

🕒

タイマーの設定中、作動中に表示されます。

🔊

バイブレーション機能がオフのとき表示されます。タイマーの残り時間が0:00:00になったときのみ振動します。

🔊🔊🔊

バイブレーション機能がオンのときに表示されます。

▼

カウントダウンのとき表示されます。

▲


カウントアップのとき表示されます。

🔋

電池残量が不足しています。電池残量が不足していると本機はパソコンと接続することができません。電池を交換してください。

レーザーポインター機能を使う

■ レーザーポインターを使う

- 1) 本機左横の電源 / プレゼンターモードスイッチを「Keynote」または「PowerPoint」に動かし電源を入れます。
- 2) レーザー光出力口(⑧)を指し示したい方へ向け、 を押します。
レーザーポインターキーを押している間はレーザー表示ランプ(⑨)が点灯します。

プレゼンター機能を使う

■ 設定

プレゼンター機能を使うときは、本機左横の電源 / プレゼンターモードスイッチを使用するソフトウェアに合わせて「Keynote」または「PowerPoint」に正しく設定してください。設定が不適切な場合、正しく動作しないことがあります。

■ 使用できるソフトウェア

プレゼンターモードスイッチを「Keynote」に合わせたとき：


Mac 用 Keynote

プレゼンターモードスイッチを「PowerPoint」に合わせたとき：

PowerPoint[®]、PowerPoint[®] for Mac


・ Adobe[®] Reader[®] for Windows[®] と プレビューは、プレゼンターモードスイッチをどちらに合わせたも使用できます。

■ スライドショーを実行する

 を押してスライドショーを開始します。もう一度押すとスライドショーを終了します。


・ Adobe[®] Reader[®] とプレビューでは、スライドショー開始・終了機能をご利用いただけません。スライドショーを開始、終了したいときは、パソコンで操作をしてください。

■ スライドショー実行中にスライド間を移動する

 (進む)：次のスライドを表示します。

 (戻る)：前のスライドを表示します。









■ ブラックスクリーン

 を押してパソコンの画面をブラックスクリーン(真っ黒な状態)にすることができます。もう一度押すと元の画面に戻ります。





・ Adobe[®] Reader[®] とプレビューはブラックスクリーンに対応していません。

タイマーを使う

■ タイマー時間の設定

- (1) 本機左横の電源 / プレゼンターモードスイッチを「Keynote」または「PowerPoint」に動かし電源を入れます。
- (2) タイマー時間を設定するには、本機右横の  を押します。タイマー時間を設定したことがある場合は直前に設定した時間が LCD 表示部に表示されます。
 - ・ LCD 表示部がオフのときは、本機右横の  または  を 1 度押して LCD 表示部とバックライトを点灯させてから設定してください。
- (3)  を押して設定したい時間(時、分、秒のどれか)を選択します。
- (4)  (進む)または  (戻る)を押して「時」「分」「秒」を設定します。
 - ・ 9 時間 59 分 59 秒まで設定可能です。
 - ・ タイマー設定中にタイマー時間をリセット(0:00:00の状態)したいときは  を 2 秒以上長押しします。
- (5)  を押してタイマー設定を終了します。



■ タイマーを使う



- (1) タイマーを使うには、本機右横の  を押します。タイマー時間が設定されているときはカウントダウンを開始します。タイマー時間が設定されていないときはカウントアップを開始します。
- (2) タイマー作動中に  を押すと計測を一時停止できます。もう一度押すと計測を再開します。
 - ・ カウントアップのみ使用することもできます。
 - ・ カウントダウン時間が0:00:00になると自動的にカウントアップを開始します。
 - ・ カウントアップのときは LCD 表示部に▲アイコン、カウントダウンのときは▼アイコンが表示されます。
 - ・ タイマー作動中または一時停止中に  を 2 秒以上長押しするとタイマーはリセットされ、直前に設定した時間が表示されます。計測を開始するには、本機右横の  を押します。

バイブレーションアラート

カウントダウン中に、時間がくると振動してお知らせします。プレゼンテーションの時間配分などに便利です。(音は鳴りません。)

■ バイブレーション機能をオンにすると、設定したタイマー時間の長さによって、バイブレーションが自動的に下の表のように設定されます。

■ バイブレーション機能をオンにするには  を 2 秒以上長押しします。オンになったとき約 0.5 秒振動します。もう一度  を 2 秒以上長押しするとオフにすることができます。

・ バイブレーション機能がオンのときは LCD 表示部に  アイコンが表示されます。オフのとき(0:00:00のみ振動)は  アイコンが表示されます。

・ カウントダウン終了時のバイブレーションはオンオフの切替えができません。カウントダウンの残り時間が0:00:00になると常に振動します。

■ バイブレーションの時間がくると LCD 表示部とバックライトが約 20 秒間点灯します。

■ タイマーの設定時間とバイブレーションパターン

○：毎回 0.5 秒振動します / ●：毎回 1.5 秒振動します / ×：振動しません

タイマー設定時間	30分以上	29分59秒～5分01秒	5分0秒～1分01秒	1分0秒～0分01秒
バイブレーション				
設定時間の半分が経過したとき	1回振動	○	×	×
残り5分	1回振動	○	×	×
残り1分	2回振動	○	○	×
残り0分(終了)	3回振動	●	●	●

LCD表示部とバックライト





本機は電池の消費を防ぐため、約 20 秒間キーやスイッチの操作がないと自動的に LCD 表示部の表示とバックライトが消えます。

点灯させたいときは、本機右横の  または  を 1 度押してください。

・ タイマーがオンのときに LCD 表示部とバックライトが消えても、タイマーは継続して作動しています。

故障かな?と思ったら

本機がパソコンと接続できない、または正しく機能しない場合は下の事項を確認してください。

- ・ 電池の極性(+)、(−)の方向を確認してください。
- ・ お使いのパソコンが動作環境条件を満たしているか確認してください。
- ・ USBレシーバーがパソコンのUSBポートに正しく差し込まれているか確認してください。
- ・ パソコンと本機の間に障害物がある場合は取り除いてください。
- ・ 接続確立後に LCD 表示部の表示が消えた場合は、 または  を押して  アイコンが表示されているか確認してください。
- ・  アイコンが表示されているときは電池を交換してください。
- ・ 電磁干渉や静電気放電により表示部に誤動作が起きる場合があります。その場合は、電源 / プレゼンターモードスイッチを OFF にして本機の電源を切り、再度電源を入れてください。
- ・ 本機の USBレシーバーをノートパソコンに接続した場合、お使いのノートパソコンによって下記のようなメッセージが表示され、タッチパッド機能が無効になることがあります。タッチパッド機能を有効にしたい場合は、お使いのノートパソコンのタッチパッド設定を確認してください。
※お使いのパソコンによって表示 / 設定方法が異なる場合があります。



- ・ レーザーを長時間照射し続けると、レーザー光が弱まる場合があります。その場合、しばらく Off にした状態で置いてください。(PR10-GCのみ)